

## ●秋本番、色づく秋の木々を楽しみましょう！

朝夕の寒さが身に染みる季節になりました。秋の公園を散歩して、気温の変化に負けない体を作りましょう！

### ○イチヨウは防火の役割を担っていた？

●紅葉より一足早く、黄色く染まるのがイチヨウの木。黄葉した葉がとても美しく、日の光に当たるとまさに黄金色に見えるのです。さて、そのイチヨウ、樹皮が厚く、コルク質で気泡があるため、耐火力があるとみなされており、実際、江戸時代に植えられたイチヨウが、関東大震災のときに、延焼を防いだとも言われています。実をギンナンとして食べたり、防火の働きがあったり、そして秋には黄葉を楽しんだり、イチヨウは人の暮らしに深く根付いていたのかもしれない。



①イチヨウ

### ●ナンキンハゼの紅葉



②ナンキンハゼ

河童沼のほとりに生えるナンキンハゼは、秋になるときれいに紅葉します。とくに黄色、オレンジ、赤のグラデーションの美しさは息をのむほどです。また、その種子からは、烏臼油（うきゅうゆ）と呼ばれる油を採ることができ、石鹸やろうそく、薬（腫物、皮膚病）、絵画やニス、乾燥剤などにも使われるそうですよ。

### ●セイトカアワダチソウってなに？

●秋になると、野原を埋め尽くす黄色い花に見覚えありませんか？一見きれいなこの花は、実は在来の植物にとって大きな脅威となっているのです。その名はセイトカアワダチソウ。大きく分けるとキクの仲間。種と根で増えるため、戦後、観賞用としてアメリカから持ち込まれ、日本国内で爆発的に増えたといわれています。

#### ■ススキ vs セイトカアワダチソウ

よくススキの野原にセイトカアワダチソウが侵入し、ススキにとって変わったという話を聞きます。しかし、場所によって、特に土の成分などによってススキが逆転することがあるそうです。セイトカアワダチソウは、アレロパシー物質（システヒドロマトリカリアエステル）を生成して周囲の植物の成長を阻害することで有名です。そのためススキの野原にも容易に入り込むことができます。しかし、リンが少ない土地、強酸性の土地、乾燥した土地では弱く、すぐにセイトカアワダチソウはススキなどの多年草にまけてしまうとのこと。一筋縄ではいかないのが自然の厳しさなのかもしれません。



③セイトカアワダチソウ



#### ■紅葉を見るのにちょうどいい時間帯は？

紅葉を見るのに適した時間帯は早朝です。赤い葉自体は、葉を落とす寸前の状態なので、端的に言えば枯れ始まっている葉です。すなわち、夜露に濡れて潤っている時間帯がベスト。モミジなどは、日中になると、葉が乾燥し、チリチリになってしまいます。ご注意ください。

#### ●サザンカ（山茶花）の季節です

秋の終わりから冬にかけて花期を迎えるサザンカ（山茶花）。漢字名の通り、お茶の葉と同じツバキ科ツバキ属の樹木です。赤や白などいろいろな品種があり、種類によっては咲く時期も少しずれがあるそうです。冬の季語にもなっているサザンカですが、開花時期に寒気にさらされると花が落ちてしまうこともあるそうです。特に原種のサザンカに至っては、北限が九州・四国地方であり、寒さに強いわけではないそうですよ。意外ですね。



④サザンカ

## ●ひんやりした秋風を受けながら、紅葉した公園をてくてく散歩してみたいはいかがでしょうか？

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索